

平成29年度改定版 前橋市産業振興ビジョン 各施策の進捗状況

平成29年度改定版前橋市産業振興ビジョン目標数値

戦略 1 既存産業の総合的・実効的支援

指標	ビジョン策定時	直近の状況	目標数値
①各種支援による就労者数(ジョブセンター利用者の就労者数)	—	668人(H29)	100人/年
②経済センサスデータによる市内事業所の廃業率(年換算)	7.7%(H24~H26)	7.4%(H28)	7.5%(H28~H31)
③製造業の粗付加価値額	1,844億円(H26)	1,963億円(H29)	2,000億円(H31)

戦略 2 新産業の創出・成長産業の育成

指標	ビジョン策定時	直近の状況	目標数値
①新製品の開発支援件数(3年間)	23件(H27)	16件(H29)	90件(H29~H31)
②各種支援によって製品化され、販売まで繋がったプロジェクト件数(3年間)	—	7件(H29)	9件(H29~H31)

※①は新製品開発補助件数、②は制度融資・御用聞き等も含めた発売製品件数

戦略 3 前橋にマッチした企業誘致の促進

指標	ビジョン策定時	直近の状況	目標数値
①産業適地への企業誘致件数	5件(H27)	3件(H29)	10件(H29~H31)
②産業用地の確保	—	調整を進めている	新たに整備完了の状況

戦略 4 起業家の創出と人材育成

指標	ビジョン策定時	直近の状況	目標数値	
①開業	(1)経済センサスによる市内事業所の開業率(年換算)	7.2%(H24~H26)	4.7%(H28)	10.0%(H28~H31)
	(2)開業融資制度の利用者数	52件(H25~H27)	48件(H29)	60件(H29~H31)
②廃業	(1)開業融資制度を利用した事業者の3年後の廃業率	7.4%(H27)	2.2%(H29)	5.6%(H31)
	(2)開業融資制度を利用した事業者の5年後の廃業率	7.7%(H27)	2.2%(H29)	7.0%(H31)

■ 女性活躍推進計画

指標	ビジョン策定時	直近の状況	目標数値
①女性の有業率(生産年齢人口15~64歳)	67.1%(H24年度)	67.2%(H29年度)	70.6%(H31年度)
②女性の正規職員・従業員の割合	42.6%(H24年度)	43.3%(H29年度)	50.6%(H31年度)
③管理職職業従事者に占める女性の割合	8.3%(H24年度)	20.6%(H29年度)	13.9%(H31年度)

平成29年度改定版前橋市産業振興ビジョン進捗状況一覧

●全体の取組状況

		H29
A 概ね順調に進んでいる	・目標達成に向け、順調に推移している	57% (12施策)
B 少し遅れている	・目標達成に向け、取組方針の見直しや改善が求められる	43% (9施策)
C 遅れている	・目標達成に向かっていないため、指標や手段の再検討が必要である	0% (0施策)
合計		21施策

戦略 1 既存産業の総合的・実効的支援

No.	施策の方針	H29 進捗状況
①	中小企業・小規模事業者の資金繰り支援施策の推進	A
②	中小企業・小規模事業者の人材育成支援施策の推進	A
③	中小企業・小規模事業者が新たな販路を開拓するための支援	A
④	事業所の経営の効率化に関する支援	A
⑤	事業所が必要な人材を獲得でき、市民が意欲を持ち市内で働ける施策推進	B
⑥	ものづくり労働者の技術および技能継承を円滑に進めていくための支援の推進	B

戦略 2 新産業の創出・成長産業の育成

No.	施策の方針	H29 進捗状況
①	学術研究機関との連携促進による、新たな技術、ニーズの獲得支援の推進	B
②	先端産業や異業種間連携による、新たな価値を創造できる環境づくり	A
③	新たな技術、新たな製品の販路拡大に対する支援の推進	A
④	ヘルスケア産業と連携した新たな製品開発、技術開発支援の推進	B
⑤	基幹産業のビジネス展開支援と連携強化	B

戦略 3 前橋にマッチした企業誘致の促進

No.	施策の方針	H29 進捗状況
①	自然災害が少ない優位性を活かした、首都圏にある企業等のバックアップ機能の誘致促進	B
②	充実した交通網を活かした物流拠点の誘致促進	A
③	豊富な水資源、農畜産物を活かした食料品製造業の誘致促進	A
④	市内企業が市内で事業を継続できるように、操業環境、事業の拡張性を確保	B
⑤	新たな産業用地の確保、居抜き物件の紹介等による進出企業ニーズへの対応	B

戦略 4 起業家の創出と人材育成

No.	施策の方針	H29 進捗状況
①	起業に際しての創業資金の支援、手続きに関する情報提供、ノウハウの習得の支援	A
②	創業に係る支援者(市、金融機関、支援機関等)の有機的な連携	A
③	同業種間、異業種間の起業家の交流を促進、マッチング推進と経営能力の醸成支援	B

■ 女性活躍推進計画

No.	施策の方針	H29 進捗状況
①	女性の職業生活における活躍を推進するための支援	A
②	仕事と家庭の両立のための環境の整備について	A

戦略1 既存産業の総合的・実効的支援の進捗状況

1 - ①		単位:千円			
施策の方針		中小企業・小規模事業者の資金繰り支援施策の推進			
各個別事業の実績	事業名		H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1)	小口資金	8,348,208(1,387件)	4,615,344(878件)	1,415,047(314件)
	(2)	経営振興資金	600,856(60件)	416,402(51件)	143,140(14件)
	(3)	経営安定資金	215,270(13件)	143,500(12件)	74,140(5件)
	(4)	経営力強化支援資金(H28新設)	—	15,190(2件)	73,494(12件)
	(5)	短期サポート資金	2,152,803(213件)	1,699,381(190件)	665,400(67件)
	(6)	季節資金	6,545,080(769件)	5,244,070(623件)	2,145,320(252件)
	(7)	企業設備資金	148,900(9件)	52,350(5件)	15,230(3件)
	(8)	小規模事業者訪問	46件	24件	22件
(9)	よろず相談体制の構築	—	—	—	
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する				
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 各金融機関のプロパー融資の増加に伴い、制度融資全般において減少傾向ではある。今年度で終了予定の小口資金保証料全額補助は継続実施すべく予算要求する方針である。よろず支援体制の構築については、相談内容により関係機関に取り次ぎができるような職員体制を整えるため各職員のレベルアップの向上に努める。		
		B 少し遅れている			
		C 遅れている			

1 - ②					
施策の方針		中小企業・小規模事業者の人材育成支援施策の推進			
各個別事業の実績	事業名		H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1)	小規模事業者訪問(再掲)	46件	24件	22件
	(2)	よろず相談体制の構築(再掲)	—	—	—
	(3)	人財スキルアップ補助金	59件	54件	《1月申請受付》
	(4)	就職先の紹介(ジョブセンター)	—	2,187件	900件
	(5)	就職定着支援(ジョブセンター)	—	2,181人	692人
	(6)	中小企業大学校サテライト・ゼミ(H30新設)	—	—	15名
	(7)				
	(8)				
(9)					
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する				
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 従業員育成支援に加え、経営層向けセミナーを実施。また、平成29年度に開所したジョブセンターにおける就職先マッチングや定着支援が順調に進んでいる。人手不足感の強い中、今後も支援を継続する。		
		B 少し遅れている			
		C 遅れている			

1 - ③					
施策の方針		中小企業・小規模事業者が新たな販路を開拓するための支援			
各個別事業の実績	事業名		H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1)	小規模事業者訪問(再掲)	46件	24件	22件
	(2)	よろず相談体制の構築(再掲)	—	—	—
	(3)	企業ガイドブックの作成	—	113社	—
	(4)	国際見本市各種展示会等出展費補助金	30社	29社	《1月申請受付》
	(5)	販路開拓支援補助金	—	2件	3件
	(6)				
	(7)				
	(8)				
(9)					
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する				
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 平成29年度より新たに創設した販路開拓促進補助金、国際見本市各種展示会等出展費補助金を今年度見直し、補助対象の拡充等を行った。今後、事業の効果を検証したうえで、効果的な施策展開ができるようにJETROなどの支援機関と連携しながら、販路開拓に意欲的な市内企業を継続して支援していく。		
		B 少し遅れている			
		C 遅れている			

1 - ④

施策の方針	事業所の経営の効率化に関する支援			
各個別事業の実績	事業名	H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1) 設備投資促進補助金(H30新設)	—	—	39件
	(2) IT化推進補助金(H30新設)	—	—	60件
	(3) 先端設備等導入計画(H30新設)	—	—	22件
	(4) 中小製造業等効率化設備導入補助金(A)	30件	28件	—
	(5) 中小製造業等効率化設備導入補助金(B)	51件	28件	—
	(6)			
	(7)			
	(8)			
	(9)			
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する			
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 設備投資総額については、以下のとおり。 (1)設備投資促進補助金:232,978千円、(2)IT化推進補助金:35,324千円、(3)先端設備導入計画:785,430千円	
		B 少し遅れている	製造業を中心に人手不足解消を目的とした自動化・省力化の機械設備導入も多く見られたことから、来年度以降も継続していく。	
		C 遅れている		

1 - ⑤

施策の方針	事業所が必要な人材を獲得でき、市民が意欲を持ち市内で働ける施策推進			
各個別事業の実績	事業名	H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1) 前橋市障害者・ひとり親雇用奨励金	8件	8件	0件
	(2) 前橋市仕事・子育て両立支援奨励金	4件	10件	3件
	(3) 中小企業退職金共済制度等加入促進補助金	443件	421件	《2月申請受付》
	(4) UJターン若者就職奨励金	14件	37件	2件
	(5) 企業主導型事業所内保育施設設置促進補助金	—	2件	1件
	(6) 企業ガイドブックの作成(再掲)	—	113社	—
	(7) 若者・女性の就職支援(カウンセリング)	—	1,798人	720人
	(8) 若者・女性の就職支援セミナー	—	903人	340人
	(9) 若者・女性の企業とのマッチング	—	52人(企業見学)	19人(企業見学)
	(10) 若者・女性の企業へのインターンシップ	—	17人	9人
	(11) ミライバシ(H30新設)	—	—	出展45ブース
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する			
		A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 各補助金・奨励金については概ね前年度を上回る交付件数となった。ジョブセンターは1年目の実績が今後の基準となるが、ハローワークとの更なる連携強化を図り、支援を充実させたい。9月1日に初めて開催したミライバシは、地元就職及び将来を見据えたキャリア教育を促進する上で重要な事業であることから、次回開催へ向けて改善点を協議し準備を進める。	
	○	B 少し遅れている		
		C 遅れている		

※(1)~(5)企業への経営支援、産業人材の獲得・育成

※(7)~(10)ジョブセンターまえばしにおける若者や女性への就職支援・各種セミナー・企業とのマッチング

1 - ⑥

施策の方針	ものづくり労働者の技術および技能継承を円滑に進めていくための支援の推進			
各個別事業の実績	事業名	H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1) 小規模事業者訪問(再掲)	46件	24件	22件
	(2) ジョブセンターまえばしの活用	—	20社	5社
	(3) 技術専門校との連携	6回	7回	5回
	(4) 人材スキルアップ補助金	59件	54件	《1月申請受付》
	(5)			
	(6)			
	(7)			
	(8)			
	(9)			
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する			
		A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 技術継承課題等を抱える企業が、ジョブセンターを活用した人材確保ができるような体制を構築できていないが、産業技術専門校の在職者訓練や技能検定(国家検定)については主催者と連携して周知を行っている。技能検定受験料の補助など、人材育成支援を継続し、引き続きものづくり労働者の積極的な技術の習得を促していく。	
	○	B 少し遅れている		
		C 遅れている		

戦略2 新産業の創出・成長産業の育成の進捗状況

2 - ①		単位:千円		
施策の方針	学術研究機関との連携促進による、新たな技術、ニーズの獲得支援の推進			
各個別事業の実績	事業名	H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1) 新製品・新技術開発補助金	1,287(2社)	977(1社)	1,500(3社)
	(2) 公募型共同研究開発補助金	26,736(15社)	—	—
	(3) 前橋市ぐんま新技術・新製品開発推進補助金	793(2社)	677(2社)	800(2社)
	(4) 長期対応型 新製品・新技術開発補助金	10,991(7社)	17,090(13社)	8,550(6社)
	(5) 共同研究推進補助金(H30新設)	—	—	750(2社)
	(6)			
	(7)			
	(8)			
	(9)			
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する			
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) (2)公募型共同研究開発補助金については、前橋工科大学に限らず、様々な研究機関と連携させる事を目的に、平成29年度から(4)長期対応型新製品・新技術開発補助金に統合。平成30年度から本補助金の趣旨を明確にさせるため、(5)共同研究推進補助金を新たに制定。今後も、製品開発に意欲的な市内企業を継続して支援していく。	
		B 少し遅れている		
		C 遅れている		

2 - ②		単位:千円		
施策の方針	先端産業や異業種間連携による、新たな価値を創造できる環境づくり			
各個別事業の実績	事業名	H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1) 異業種連携・産学連携支援(団体補助)	2件	1件	1件
	(2) 北関東産官学研究会賛助会費	10	10	10
	(3) 産学官金連携推進会議(前橋商工会議所 実施)	—	後援	共催
	(4)			
	(5)			
	(6)			
	(7)			
	(8)			
	(9)			
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する			
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 異業種交流Gへの補助が平成28年度を持って廃止となった為、(1)団体補助件数が1件の減。(3)産学官金連携推進会議については、平成30年度から運営にも携わる形となり、各機関との連携を強めている。今後も連携によるイノベーションの機運を醸成しつつ、企業の自発的な異業種連携・産学連携をハブとして支援できる体制を維持する。	
		B 少し遅れている		
		C 遅れている		

※(1)~(2)ものづくり技術力を強化するための異業種連携・産学連携支援

2 - ③		単位:千円		
施策の方針	新たな技術、新たな製品の販路拡大に対する支援の推進			
各個別事業の実績	事業名	H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1) 企業ガイドブックの作成(再掲)	—	113社	—
	(2) 販路開拓支援補助金(再掲)	—	2件	3件
	(3) 御用聞き型企業訪問(再掲)	71社 188回	63社 205回	41社 91回
	(4) 新製品・新技術開発補助金(再掲)	1,287(2社)	977(1社)	1,500(3社)
	(5) 前橋市ぐんま新技術・新製品開発推進補助金(再掲)	793(2社)	677(2社)	800(2社)
	(6) 長期対応型 新製品・新技術開発補助金(再掲)	10,991(7社)	17,090(13社)	8,550(6社)
	(7) 共同研究推進補助金(再掲)	—	—	750(2社)
	(8) 高度ものづくり技術アドバイザー派遣事業		0件	1件
	(9)			
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する			
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 平成29年度には新たな取組みとして、BtoB販路拡大支援を目的とした企業ガイドブックを作成したほか、販路開拓を支援する新たな補助事業を開始。基礎研究段階から販路拡大に至るまで切れ目のない支援メニューとなっている。今後も、業種ごと企業ごとの様々なニーズに寄り添える支援体制を維持する。	
		B 少し遅れている		
		C 遅れている		

※(4)~(5)成長産業への進出支援

施策の方針		ヘルスケア産業と連携した新たな製品開発、技術開発支援の推進			
各個別事業の実績	事業名		H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1)	県と連携した施策展開(再掲 2-③-(5))	793(2社)	677(2社)	800(2社)
	(2)	異業種連携・産学連携支援(団体補助)(再掲)	2件	1件	1件
	(3)	新製品・新技術開発補助金(再掲)	1,287(2社)	977(1社)	1,500(3社)
	(4)	長期対応型 新製品・新技術開発補助金(再掲)	10,991(7社)	17,090(13社)	8,550(6社)
	(5)	共同研究推進補助金(再掲)	—	—	750(2社)
	(6)				
	(7)				
	(8)				
	(9)				
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する				
		A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等)		
	○	B 少し遅れている	(1)~(4)各事業とも医療分野に関する事業も支援対象となっており、他分野と同等の支援体制があるが、ヘルスケア産業特有の課題に特化した支援施策は実施していない。医療分野は参入障壁が高く、新製品開発には相応の時間を要し、伴って企業体力が必要とされる現実からして、行政主導でマッチングを推進することは困難。		
		C 遅れている			

※(1)は前橋市ぐんま新技術・新製品開発推進補助金

施策の方針		基幹産業のビジネス展開支援と連携強化			
各個別事業の実績	事業名		H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1)	農政部門との連携	—	IoTセミナー開催	《検討中》
	(2)	各種制度の見直し・検討	—	検討を進めている	《検討中》
	(3)	6次産業関連事業	とんとん広場視察(12名)	永井酒造視察(17名)	《六次産業セミナー》
	(4)				
	(5)				
	(6)				
	(7)				
	(8)				
	(9)				
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する				
		A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等)		
	○	B 少し遅れている	前橋市創業センターにおいて6次産業関連セミナーを開催し、既存産業のノウハウを創業者に伝えている。また、平成29年度には農政部門、JA、商工会議所等と連携してIoTセミナーを開催。連携強化に向けた個別実績はあるが、体系的な取組みとなっていない。今後、6次産業化に向けた農商工連携等の企業活動を支援する施策が必要。		
		C 遅れている			

※(1)~(3)6次産業の推進支援等

戦略 3 前橋にマッチした企業誘致の促進の進捗状況

3 - ①					
施策の方針		自然災害が少ない優位性を活かした、首都圏にある企業等のバックアップ機能の誘致促進			
各個別事業の実績	事業名		H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1)	企業誘致セミナー	443人	30人	《年度内実施予定》
	(2)	群馬県「ぐんま企業立地セミナー」への参加等	125人	127人	《11月実施予定》
	(3)	バックアップ機能誘致推進	—	—	—
	(4)	企業立地促進条例に基づく助成	22社	19社	9社
	(5)				
	(6)				
	(7)				
	(8)				
	(9)				
各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
進捗状況と今後の方向性		A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等)		
	○	B 少し遅れている	自然災害の少なさなど操業しやすい環境である本市の魅力をもっとPRするため、都内で開催される県の企業立地セミナーや群馬県人会などを通じ、首都圏での周知を行った。今後も、既存事業を継続するとともに、本市の魅力を発信できる機会を研究し、効果的なバックアップ機能の誘致方法を研究する。		
		C 遅れている			

3 - ②					
施策の方針		充実した交通網を活かした物流拠点の誘致促進			
各個別事業の実績	事業名		H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1)	前橋商工会議所と連携した企業誘致活動等	—	25社	《年度内実施予定》
	(2)	企業誘致セミナー(再掲)	443人	30人	《年度内実施予定》
	(3)	群馬県「ぐんま企業立地セミナー」への参加等(再掲)	125人	127人	《11月実施予定》
	(4)				
	(5)				
	(6)				
	(7)				
	(8)				
	(9)				
各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
進捗状況と今後の方向性	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等)		
		B 少し遅れている	物流事業者のニーズに対応を含め、本市の持つ地理的優位性を十分に活かすために、五代南部工業団地を拡張し、2社の物流事業者が立地し、操業を開始した。本市の魅力である充実した交通網を継続してPRすることが重要であるため、今後もぐんま企業立地セミナーを始め、広く周知を行い、物流拠点の誘致に取り組む。		
		C 遅れている			

※(1)関係機関と連携した企業誘致活動等

3 - ③					
施策の方針		豊富な水資源、農畜産物を活かした食料品製造業の誘致促進			
各個別事業の実績	事業名		H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1)	前橋商工会議所と連携した企業誘致活動等(再掲)	—	25社	《年度内実施予定》
	(2)				
	(3)				
	(4)				
	(5)				
	(6)				
	(7)				
	(8)				
	(9)				
各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
進捗状況と今後の方向性	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等)		
		B 少し遅れている	商工会議所、県、各支援機関と連携した情報発信を行い、五代南部工業団地の拡張用地に食料品製造業を県外から1社誘致した。また、商工会議所と連携して実施した前橋ビジネス交流会開催の際には、都内の業界や支援団体を訪問し、本市の魅力を積極的にPRした。今後も豊富な水資源や農畜産物などの本市の強みを活かした誘致に取り組む。		
		C 遅れている			

※(1)産業界との連携した企業誘致活動等

3 - ④

施策の方針		市内企業が市内で事業を継続できるように、操業環境、事業の拡張性を確保			
各個別事業の実績	事業名		H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1)	事業拡張サポート補助金	2社	4社	2社
	(2)	企業立地促進条例に基づく助成等	22社	19社	9社
	(3)	工場立地法に関する規制緩和(市条例)	—	—	—
	(4)	環境配慮型企業を支援する補助金	—	1,203(1件)	《廃止》
	(5)				
	(6)				
	(7)				
	(8)				
	(9)				
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する				
		A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等)		
	○	B 少し遅れている	優遇措置指定の企業に助成を行い、企業誘致や事業継続の一助としている。引き続き補助制度を運用していくとともに、補助要件の見直しを検討していく。		
	C 遅れている				

※(3)~(4)緑地制限の緩和等による工場拡張性の確保等

3 - ⑤

施策の方針		新たな産業用地の確保、居抜き物件の紹介等による進出企業ニーズへの対応			
各個別事業の実績	事業名		H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1)	新たな産業用地の選定及び開発	4件	3件	0件
	(2)	企業誘致促進資金融資	0件	0件	0件
	(3)	企業進出ニーズにこたえた産業用地の確保	1件	0件	0件
	(4)	居抜き物件の紹介	0件	0件	0件
	(5)				
	(6)				
	(7)				
	(8)				
	(9)				
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する				
		A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等)		
	○	B 少し遅れている	五代南部工業団地(拡張)の残り3件を分譲し完売となった。新たな産業用地は、候補地の確保を目指し、市街化区域編入に向けて調整中である。また、市内の事業所、工場、店舗などの空き地や空き工場の調査を実施した。今後は、把握した紹介可能な物件情報を有効活用し、各企業の個別ニーズにあった用地サポートを実施する。		
	C 遅れている				

戦略 4 起業家の創出と人材育成の進捗状況

4 - ①		単位:千円		
施策の方針	起業に際しての創業資金の支援、手続きに関する情報提供、ノウハウの習得の支援			
各個別事業の実績	事業名	H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1) 創業支援塾の開催	51名	53名	33名
	(2) 創業センターのセミナー	463名	329名	141名
	(3) 前橋商工会議所 創業スクール	29名	22名	《H31年2月開催予定》
	(4) 東和銀行・群馬大学 創業塾	—	31名	《11月開催予定》
	(5) 創業に関する相談窓口の設置	302件	288件	115件
	(6) 創業支援コンサルティング	19件	13件	9件
	(7) 起業家独立開業支援資金	428,280(48件)	335,880(48件)	87,800(11件)
	(8) 創業サポート総合制度	コンサル179件 利子補給85件 保証料補助63件	コンサル163件 利子補給57件 保証料補助73件	コンサル39件 《利子補給1月受付》 《保証料補助1月受付》
	(9) まえばし創業支援ネットワーク	10件	14名(33件)	《11月開催予定》
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する			
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等)	
		B 少し遅れている	本市における各施策の実績値は減少傾向であるが、民間セミナー開催など本市以外の支援事業が充実してきている流れを鑑みて、創業支援に対する環境が安定期に入ったとみる。今後は、創業希望者への情報発信や創業機運醸成事業に注力し、新規開拓に努めるとともに、各支援機関と連携して支援を継続していく。	
		C 遅れている		

※(1)~(4)起業のための講座の開設

4 - ②		創業に係る支援者(市、金融機関、支援機関等)の有機的な連携		
各個別事業の実績	事業名	H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1) 前橋市創業センターの運営	10名入居	11名入居	10名入居
	(2) まえばし創業支援ネットワーク(再掲)	10件	14名(33件)	《11月開催予定》
	(3) 金融機関との地域包括協定	2件	2件	2件
	(4) まちなか開店支援事業補助金	10店	7店	5店
	(5) まちなかオフィス開業支援事業補助金	4店	1件	0件
	(6) まちなか低未利用地等活用促進事業補助金(H29新設)	—	0件	1件
	(7) まちなか創業支援事業補助金(H30新設)	—	—	1件
	(8)			
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する			
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等)	
		B 少し遅れている	各支援機関とのネットワークが構築され、まちなかにある前橋市創業センターを創業支援の拠点とする動きが安定化しつつある。今後も連携先との関係強化及び支援機関との新規連携締結を模索することにより支援で、一層の拡充を行う。	
		C 遅れている		

4 - ③		同業種間、異業種間の起業家の交流を促進、マッチング推進と経営能力の醸成支援		
各個別事業の実績	事業名	H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1) 起業家交流会	59名	41名	《11月開催予定》
	(2) 創業センターのセミナー(再掲)	463名	329名	141名
	(3) まちなか店舗事業承継支援補助金	—	—	3件
	(4) 事業承継マッチング事業(創業センター)	0件	0件	1件
	(5) こども起業塾	20名	22名	19名
	(6) 起業の魅力発信事業(動画製作)(H29新設)	—	6名	—
	(7)			
	(8)			
	進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する		
		A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等)	
○		B 少し遅れている	国では、創業無関心層に対して創業への興味を抱かせる創業機運醸成事業が新規に追加され注目されている。この中で、本市においても創業の魅力発信・機運醸成に係る事業を創業支援等事業計画に位置付け取り組んでいく。また、事業承継も一つの柱と捉え、創業希望者及び廃業希望者のマッチングも含めて支援を行っていく。	
		C 遅れている		

※(2)若者・女性・シニアの起業精神の育成

■ 女性活躍推進計画の進捗状況

■ - ①		女性の職業生活における活躍を推進するための支援		
施策の方針		女性の職業生活における活躍を推進するための支援		
各個別事業の実績	事業名	H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1) 前橋市障害者・ひとり親雇用奨励金(再掲)	8件	8件	0件
	(2) 若者・女性の就職支援(カウンセリング)(再掲)	—	1,798人	720人
	(3) 企業とのマッチング(再掲)	—	52人(企業見学)	19人(企業見学)
	(4) 若者・女性の就職支援セミナー(再掲)	—	903人	340人
	(5) 就職面接会等による就職支援	就職41人	就職44人	9/20,2/19面接会実施予定
	(6) 就職定着支援(ジョブセンター)(再掲)	—	2,181人	692人
	(7) 介護職員初任者研修講座	17人	18人	12人
	(8) 女性の起業セミナー	30人	46人	48人
	(9) 起業家独立開業支援資金(再掲)	428,280(48件)	335,880(48件)	87,800(11件)
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する			
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等)	
		B 少し遅れている	ジョブセンターによる各種就職支援のほか、ハローワークとの連携により子育て女性の就職支援を行い、前年度を上回る就職者数となった。近年求職者が減少傾向にある中、潜在している労働力の開拓を行うとともに、希望職種や勤務条件を把握し、それにマッチングする企業に対して事業への参加を促していく。	
		C 遅れている		

■ - ②		仕事と家庭の両立のための環境の整備について		
施策の方針		仕事と家庭の両立のための環境の整備について		
各個別事業の実績	事業名	H28実績	H29実績	H30実績(8月末)
	(1) 前橋市仕事・子育て両立支援奨励金(再掲)	4件	10件	3件
	(2) 企業主導型事業所内保育施設設置促進補助金(再掲)	—	2件	1件
	(3) 保育サービスの充実(福祉部)	92.3%	91.3%	《年度末までに実施》
	(4) 放課後児童クラブの拡充(福祉部)	61ヶ所	64ヶ所	71ヶ所
	(5) 働く女性に関する法令等の普及・啓発等	《随時実施》	《随時実施》	《随時実施》
	(6)			
	(7)			
	(8)			
	(9)			
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する			
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等)	
		B 少し遅れている	奨励金活用件数の向上、事業所内保育施設の新設など、市内企業の両立支援に対する取組みが徐々に広がってきた。今後はセミナーの開催により、企業の自主的な取組みを促す。また、放課後児童クラブは拡充されたものの、働く意欲がある保護者の増加に伴い待機児童が発生してしまっただけから、引き続き保育環境の整備を行っていく。	
		C 遅れている		